

件名	令和5年度 福井市障がい者自立支援協議会 第2回 居宅生活支援部会		
日時	令和5年8月4日（金）10:00～11:30	会場	ハピリン4階研修室 AB
欠席者	（市社協）		
傍聴者	1名：（市議）		
会議次第	1. 開会 2. 報告事項 令和5年度第1回自立支援協議会全体会について 資料1 3. 協議事項 障がい者の地域理解促進について 資料2 4. 今年度の開催スケジュール（予定）について 5. 閉会		
報告事項	1. 新しい委員紹介 身体障害者福祉連合会 会長変更 2. 令和5年度第1回自立支援協議会全体会について報告 資料1 参照 説明 令和5年度の主な取り組み 居宅生活部会 取り組み内容・年間スケジュール こども部会 取り組み内容・年間スケジュール ※子ども部会で作成したハンドブックを紹介；吉村会長説明 就労支援部会 取り組み内容・年間スケジュール 地域移行・地域定着部会 取り組み内容・年間スケジュール 相談支援事業所連絡会 取り組み内容・年間スケジュール		
協議事項	① 障がい者の地域理解促進について 資料2 参照 説明 ワーキングメンバー（案） ② 居宅生活支援部会としての研修内容の意見交換 ③ 今後の作業について 【部会長】地域移行のワーキングチームとの打ち合わせについて説明をお願いしたい。 【事務局】地域移行・地域定着部会と打ち合わせをした。地域移行に向けた意識の向上、社会貢献の機会の増進について、たたき台を作っているが外部からの研修依頼がない状況。居宅支援部会では研修依頼を待つのではなく、こちらから能動的に開催していく形の動きがいいのでは。具体的に時期的、活動の流れ等、これからどうしていくかをワーキングでという話になっている。		
意見等	【部会長】ワーキンググループには地域移行・定着部会の部会長にも入ってもらおうと考えている。質問意見はないか。 【部会員】メンバー案は信任されたのか。		

意見等	<p>【部会長】 案である。</p> <p>【部会員】 部会には当事者所属団体の方がいるので、代表の方が入った方がいいのでは。</p> <p>【部会長】 何を理解してもらいたいかというと、当事者の方にも入って貰うべきかと思う。</p> <p>【部会員】 いい意見だと思う。</p> <p>【部会員】 「地域の理解促進」は漠然としている。どこがどう問題なのか・どうあるべきかが、何も出ていない。調べて、今後これに対して、こうありたいから、こう働きかけるとい進め方になるのか。どう動かそうとしているのか分からない。</p> <p>【部会長】 アンケートを相談の方もやるので、その結果を見て何が困っているのかを見て洗い出しと言うのは 11 月にまとまると聞いている。結果が出る前に地域に「障害とは何？」とかを知ってもらう為に、民生児童委員等にアクションをしたいと思う。漠然としているが 11 月以降に話したい。ワーキンググループメンバーについては当事者の方を含め、「やってみる！」という方がいればお願いしたい。</p> <p>【事務局】 （補足として）地域移行・定着部会は具体的に発信がまだ出来ない事もあるので、居宅支援部会と一緒に足並み揃えて動いたり、研修の働きかけをしていけるところがあるのではと考えている。より具体的に一緒に掘り下げて進めて行くイメージ。</p> <p>【部会員】 地域の民生委員と区長には災害の支援者リストがあるが、一部しか入っていない。大きなお世話はしないで欲しいという人もいる。地域住民との共生は難しいと思う所がある。ありたい、あるべき姿は難しいと思っている。</p> <p>【部会員】 自分の地域も高齢化が進んでいる。祭りでも、若い人の関わりは少ない現状。</p> <p>【部会員】 地区相談も基幹も相談なので踏み込んでいいのか迷っている。地域の方もどう関わったらいいのか分からないし、地域の当事者も遠慮している部分もあるのかと思うと、ワーキングのヒントになったと思った。お互いに気持ちよく関わる方法を見つけていくといったことが理解促進につながっていくことかなと思った。</p> <p>【部会長】 意見はないか。</p>
意見等	<p>【部会員】 当事者の方が入るのは大賛成。支援者同士での話では実態にそぐわない事も多いので、当事者の方のご意見を聞きたい。P 協会としては理解促進の勉強会とかに協会から出ることは可能。</p> <p>【部会員】 身体障害者、知的障害者と違って精神障害はバックとなる特別支援学校とかがなく、主に発症するのが思春期に多く、障がいの特性上、地域にオー</p>

意見等	<p>ブンに名前をあげて相談に来るとか把握されるのは難しい。私も民生委員をしていた時に誰も相談にも来なかった。災害要支援者に息子を対象者としてお願いしていない。</p> <p>【部会長】 当事者団体を誰にするかは事務局で相談する。立候補はいないか。</p> <p>【部会員】 ピアサポート 3 名とは？。</p> <p>【事務局】 病院とか施設にいた方が地域でグループホームとか一人暮らしへの不安や地域にどこまで情報を出して行けばいいのかを知るイメージで、サポートを受けながら生活している方（ピアサポーター）に成功事例・体験を話してもらい、部会メンバーは当事者に働きかける役割。</p> <p>【部会員】 地域移行・地域定着部会のワーキンググループがどう運営してきたのか、どういう資料を作ったのかということは認識していないので確認から始めたい。今地域で何が問題で、誰に何を発信するのかという所は掘り下げていかないといけない。とある地区の民生委員の方に話しに行った。障がいのある方が地域でどのように生活しているかを話したが、草の根なのかと思う。</p> <p>「誰に」「何を伝えたいか」というのがキーポイントになる。幅を広げれば医療の方々にもというのと、対象が広がっていく。</p> <p>【部会員】 障がい者にかかわっていない人は知的・発達・精神等と大きすぎるので、コンパクトで絞って少しずつ取り組んでいった方がいいのではと思う。</p> <p>【部会員】 地域の理解促進というのは、地域の方の理解が低いということが前提にある。アンティスティグマ活動（根拠のない差別偏見を減らす）の取組が出来たらと思う。当事者が声を発しての研修会開催等の最終的ゴールに向け、まずは、地域の方と病院の交流が必要と考え、実践しているところ。</p> <p>【部会員】 地域で生活している人で、物を長い間見ている人がいて（普段からそういうことが多い）、コンビニ店員さんから、「なんで見ているんですか。早く出ていってください」と注意された。どういう所で嫌な思いをしたとか等を集めて定着部会の方に繋げられたらと思った。</p> <p>【部会員】 越前市で研修があった。障害者限定ではなかったが、相談があった時にどう対応するかだった。多かったのは引きこもりの事例。何が問題になったのかと言うと家族がオープンにしたいくないこと。民生委員は地域にいて情報を繋げるという役割だが、情報がつかめないという事が問題だと思った。当事者の方がどう思っているのかを生声を聞きたいと思った。アプローチの仕方で傷つけてしまうこともある。それぞれの障害によって対応が異なるので、絞った方がいいと思った。</p> <p>【部会員】 引きこもりにしても精神障害でも、どこかの時点で必ず助けを求める時期があるので、理解を少しでもしてくれる人が一人でも多いのは助けになるので、草の根活動で一人でも増やすというのが地域福祉の目的かと思う。</p>
-----	---

【事務局】ピアサポートのメンバーは主に精神障害の割合が多いので、ワーキンググループに精神障害者の当事者の会の方に入ってもらいたい。

【部会員】まだ、勉強中で……。※回答持ち帰り

【部会員】知的でも良ければワーキンググループに参画したいと思う。

【部会長】皆さんの話を聞いて、あらためて一緒に何かできることはないかを考えていきたいのでよろしくお願いしたい。

【部会員】社会の理解が進めばオープンになっていく、ここは連動している。本人たちも、どういう社会になって欲しいかを自身でも考えていく必要がある。そこを近くにいる我々がどう作っていくのか。方向性として、地域社会の人たちに向けていくか、或いは本人たちに向けて、本人たちがどういう社会を作っていきたいかという事を強く思ってもらえるような働きかけが必要なのではないか。そこを基にした社会理解を促進していく。理解促進に向けては、当事者抜きで進めてはいけないと思う。当事者団体の人の声を聞きながら、またどういう社会になってほしいのかというところを、声を大きくして行ってほしい。

【部会長】メンバーに参加していただけるか。

【部会員】声がかかれば。

【部会員】身体障がい者とは、視点のずれは感じたが、障がい者相談員としてかかわっていると、世間には知られたくないといった考えでいる方も少なくないと感じている。

【部会長】焦らないが、あきらめないで進めていかなければならないと、皆さんの話を聴く中で感じた。メンバーについては、また声をかけさせて貰う。8月の終わりには声掛けをして話し合いをして、11月には方向性を報告したい。

以上